

第4学年 国語科学習指導案

1 単元名 「見学したり調べたりしたことをもとにグループ新聞を作ろう」
(教材 : みんなで新聞を作ろう)

2 単元のねらい

- 新聞の特徴を知り、進んで新聞作りに取り組もうとする。 (国語への関心・意欲・態度)
- 見出しを付けたり、割り付けを工夫したりして、新聞の特徴に基づいた書き方をする。 (書くこと)
- 文章を読み返したり読み合ったりすることで、間違いを正したりよりよい表現に書き直したりすることができる。 (言語についての知識・理解・技能)

3 身につけたい情報活用能力

- 新聞の作り方を知り、見学したり調べたりしたことを記事にまとめる。 (調べたことをまとめる力)
- 自分達の活動を振り返ったり、グループ新聞を読み合って友達の新聞の良さを伝え合ったりする。 (評価する力)

4 単元設定の意図 ～略～

5 単元の評価規準について

ア 国語への関心・意欲・態度	イ 書くこと	ウ 言語についての知識・理解・技能
新聞の特徴を知り、進んで新聞作りに取り組もうとしている。	見出しを付けたり、割り付けを工夫したりして、新聞の特徴に基づいた書き方をしている。	文章を読み返したり読み合ったりすることで、間違いを正したりよりよい表現に書き直したりしている。

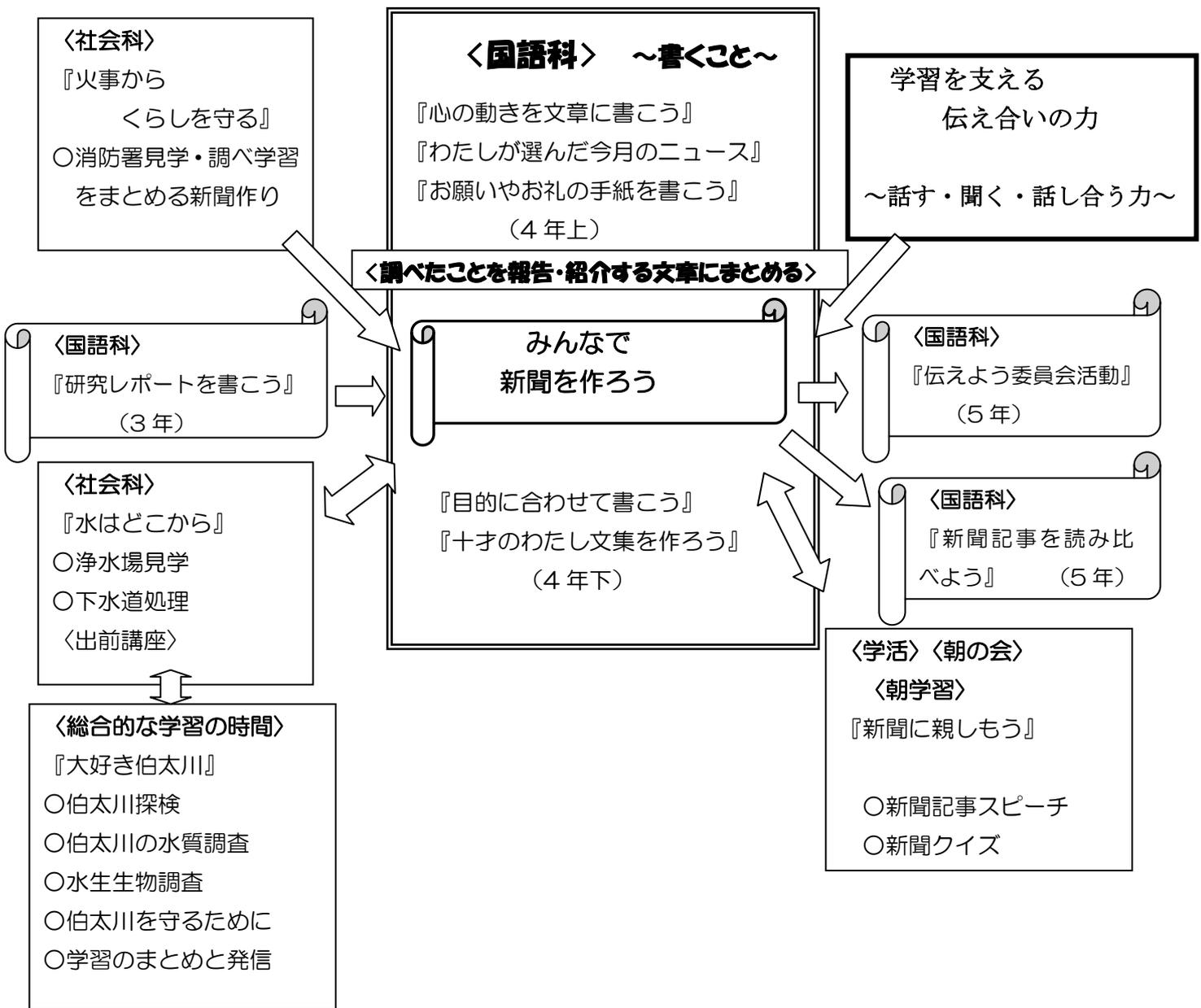
6 単元の指導計画及び評価計画 (全11時間 本時 1/11)

	学習活動	○教師の手立て ●学校図書館とのかかわり	評価規準と評価方法
第一次 ・ 2時間	○ 新聞の特徴や書き方の工夫を見つけ、新聞のつくり気づく。 (1時間 本時)	○ 社会科の浄水場見学で学んだことを新聞にして3年生や保護者に伝えるという課題をもつことで、学習の必要感と意欲をもつことができるようにする。 ● 小学生新聞の準備 ● 新聞の特徴の押さえ	アー1 新聞の特徴や書き方の工夫を見つけ、新聞のつくり気づいている。 【発言・態度】
	○ 学習計画を話し合っ作り、これからの活動の見	○ 活動に見通しをもつことで、学習に対する意欲をもつことができ	アー2 活動に見通しをもち、新聞作りに意欲をもつ

	通しをもつ。(1時間)	るようにする。	ている。【発言・態度】
第二次・8時間	○ グループごとに新聞作りの計画を立て、割り付けを考えて記事を分担する。(2時間)	○ 伝えたい思いや読み手の興味を考えながら、割り付けや記事の分担を話し合うことができるようにする。 ○ 事前の見学で活用したデジタルカメラの記録、インタビューの記録等、必要な材料を準備しておく。 ○ ワークシートを用いることで、実際の割り付けをイメージしながら考えることができるようにする。	イー1 書きたい題材や割り付けについて自分の考えをもち、友達と話し合っ て分担を決めている。 【発言・態度・ノート】
	○ 記事を書く材料を選んだり、必要な情報を調べたりする。(1時間)	○ さらに必要な情報がある時には、図書資料などで調べる方法や電話インタビュー等も活用し、記事を作成するための材料集めに意欲をもって取り組めるようにする。 ● 必要な図書の準備	イー2 新聞記事を書くために必要な材料を集めたり、情報を調べたりしている。【発言・態度・ノート】
	○ 情報を整理して、記事の下書きを書く。(2時間)	○ 記事を書くためのヒントカードを準備することで、大事なことを落とさずに三段落の構成で下書きを書くことができるようにする。 ● 新聞記事の書き方指導 ● ヒントカード	イー3 情報を整理して、大切なことを落とさずに三段落の構成で下書きを書いている。【下書き用ワークシート】
	○ グループで下書きを読み合っ て推敲する。(1時間)	○ 書いたものを友達同士で読み合うことで、互いの考えの違いや同じところに気づくとともに、お互いの文章を推敲し、アドバイスをもとに直しを行って清書することができるようにする。 ○ 付箋を使って、良いと思うところピンク色、アドバイス青色に書いてお互いに渡すことで、推敲の参考にできるようにする。	ウー1 グループで下書きを読み合い、より良い表現になるように助言し合ったり、直したりしている。【発言・態度・付箋・推敲チェックリスト】
	○ 記事を清書して新聞に仕上げる。(2時間)	○ それぞれのグループの新聞を書く相手・目的を確認することで、	ウー2 相手に伝わるように工夫して記事を清書して

		それを意識した清書ができるようにする。(字の大きさ、漢字の使い方、図、絵等)	いる。【新聞】
第三次・1時間	○ 自分の活動を振り返ったり、作った新聞を読み合っていて感想を伝え合ったりする。(1時間)	○ 自分達の活動を振り返ること、お互いの新聞のよさを認め合うことで、単元の課題について再確認することができるようにする。	イー4自分達の活動を振り返ったり、グループ新聞を読み合っていて友達の新新聞の良さを伝え合ったりすることで、新聞の書き方の工夫やよさを確認している。【発言・ノート・付箋】

7 単元構想



8 本時の学習

(1) 目標 新聞の形式や特徴、書き方の工夫を見つけ、新聞のつくりに気づく。

(2) 本時で育てたい力

○ 自分の考えをもち、グループのみんなに伝え合い、お互いの考えを広げ深める力（伝え合う力）

(3) 展開

	学習内容と予想される児童の意識や活動	○担任の支援 ●司書教諭の支援 □学校司書の支援 ☆評価
問題意識をもつ	<p>1 単元の学習課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>○○に伝えるために、グループで 浄水場・下水道新聞を作ろう</p> </div> <p>2 本時の学習課題と流れを把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>新聞の特ちょうや工夫（よいところ）を見つけよう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">学習の流れ</p> <p>①今日の課題と評価を確認する。 ②新聞の特ちょうや工夫を見つける。 (一人で) ③見つけたことをグループで伝え合う。 ④見つけたことをみんなで確かめる。 ⑤ふり返りをする。</p> </div> <p>自己評価</p> <p>◎・・・新聞の特ちょうや工夫をたくさん見つける。 ○・・・新聞の特ちょうや工夫を見つける。</p>	<p>○ 社会科見学（浄水場）で学んだことを家の人や3年生に伝えるために新聞作りを行うということを確認することで、新聞の作り方を学ぶ必要感と意欲をもつことができるようにする。</p> <p>○ 1学期に自分達が作成した消防署新聞を思い出し、本物の新聞の工夫を知ることで、もっと見やすくて分かりやすい新聞を作りたいという意欲をもつことができるようにする。</p> <p>○ 学習の流れを確認し、掲示することで学習の見通しがもてるようにする。</p> <p>○ 課題に対して◎○の評価の視点を考え、振り返り時に自己評価を行うことで意識を高める。</p>

	<p>3 新聞を調べて、特徴や工夫を見つける。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新聞の特ちょうや工夫を見つけよう。</p> <p>4 見つけたことを、グループで話し合う。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">見つけたことを、グループで伝え合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見出しが目立っている。 ・写真があってわかりやすい。 ・いろいろな記事が書いてある。 ・新聞の名前が書いてある。 ・日にちが書いてある。 ・詳しく書いてある。 	<p>○ 新聞を手元に置いて調べることによって、普段新聞に接する機会が少ない児童もじっくりと考えることができるようにする。</p> <p>●□新聞の準備をする。</p> <p>○ 見つけたことを新聞に書き込み、それを活用して発言することで、話し合いの跡が見えるようにする。</p> <p>○ グループによる伝え合いをすることで、全員が自分の考えをそれぞれのグループの中で、広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>○●□各グループの話し合いの様子を観察し、見つけることができにくい児童に、普通の文章と比較して考えるよう声をかけたり、話し合い活動の支援をしたりする。</p>
<p>自分の考えを持つ・互いに学び合い考えを深める</p>	<p>5 新聞のつくり（特徴や工夫）を知る。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">伝え合ったことを発表しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日付 ・発行者 ・トップ記事 ・見出し ・リード文 ・本文 ・写真 ・図 ・絵 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>●発言内容から、新聞のつくりや新聞作成に使う言葉が出てきたら立ち止まり、説明しながら押さえるようにする。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 「日付」「発行者」「トップ記事」「見出し」「リード文」「本文」「写真」「図」「イラスト」など、新聞作成の上でポイントとなる言葉のカードを黒板に掲示し、児童の理解の支援とする。 ● 板書によって発言内容を分類整理することで、新聞のつくりや特徴を把握できるようにする。 <p>☆ 伝え合いをしながら、新聞の特徴や書き方の工夫に気づいている。【新聞・発言・態度】</p>
<p>考えをまとめる</p>	<p>6 本時の学習の振り返りをする。</p> <p>7 次時の予定を知る。</p>	<p>○ 本時の学習でわかったこと・思ったことという視点で、本時の振り返りを行うことで、新聞の特徴や書き方の工夫についてまとめることができるようにする。</p>

(4) 本時の評価の具体例

評価基準	十分満足できると判断される 児童の姿の具体例	おおむね満足できると判断 される児童の姿の具体例	おおむね満足できると判断 されない児童への手立て
国語への 関心・意 欲・態度	・新聞の特徴や書き方の工夫を見つけ、進んで話し合いに参加し、新聞のつくり に気づいている。	・新聞の特徴や書き方の工夫を見つけ、話し合いに参加し、新聞のつくり に気づいている。	・新聞の特徴や書き方の工夫を見つける ことができない児童には、友達の発言を 参考にするように声かけをしたり、個別支 援を行ったりする。

(5) 研究の視点

○新聞の特徴や書き方の工夫についてグループで話し合い、お互いに自分の考えを伝え合ったことは、新聞のつくり
に気づくために有効であったか。

○司書教諭、学校司書が新聞を調べる活動の支援を行ったり、司書教諭が新聞のつくりを理解する支援を行
ったりしたことは、本時のねらいに迫るために有効であったか。